

Q3 COVID-19 患者の中でどのような患者がリハビリテーションの適応となりますか？

Answer

- ・各施設の実状を踏まえながら、COVID-19 患者に対する理学療法の適応判断のためのスクリーニング指針等を参考に検討する必要があります。
- ・不要な理学療法評価や適応をスクリーニングするための隔離室への入室は感染リスク拡大やPPE の供給に悪影響を及ぼすため推奨されません。
- ・多量の分泌物、呼吸器や神経筋疾患の併存等で自己排痰が困難な症例においては理学療法の適応が考慮されます。
- ・ICU-AW など著しい機能低下を認める患者や機能低下を引き起こすリスクが高い患者に対し、安全に実施可能であれば早期からの運動やモビライゼーションの実施が推奨されます。
- ・早期リハビリテーションの禁忌、開始基準、中止基準については「集中治療における早期リハビリテーション～根拠に基づくエキスパートコンセンサス～」が公開されており活用できます。

詳細資料

世界保健機構（WHO）

<https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/clinical-management-of-novel-cov.pdf>

日本集中治療医学会 : The Australian and New Zealand Intensive Care Society (ANZICS)

COVID-19 Guidelines Version 1 の原文、日本語訳

<https://www.jsicm.org/news/news200326.html>

日本集中治療医学会 : Physiotherapy Management for COVID-19 in the Acute Hospital

Setting: Recommendations to guide clinical practice の原文、日本語訳

<https://www.jsicm.org/news/news200401.html>

日本呼吸理学療法学会 : Respiratory physiotherapy in patients with COVID-19 infection in acute setting: a Position Paper of the Italian Association of Respiratory Physiotherapists

(ARIR)の原文、日本語訳

<http://jspt.japanpt.or.jp/jsrpt/info/COVID-19-vol1.html>

日本集中治療医学会早期リハビリテーション検討委員会 : 集中治療における早期リハビリテーシ

ョン～根拠に基づくエキスパートコンセンサス～

https://www.jsicm.org/pdf/soki_riha_1707.pdf